

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	PCR 名称	LP ガス用マイコンガスメータ
CW - 02		Intelligent gas meter for LP gas

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
1	製品とラベルの概要	PCRの対象となる製品群	計量法及び計量法施行令、計量法施行規則、特定計量器検定検査規則で定義する特定計量器に含まれるLPガス用マイコンガスメータ
2		ラベルの対象となる製品範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・最小販売単位に含まれる、本体と、機能を果たす為の付属品・包装・マニュアル類。 ・同一製品の範囲としては、次のどちらかに該当する場合とする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 使用最大流量が異なっても、LCAデータが変わらないもの。 ② 使用最大流量が同じで口金/スパンの違いにより質量が異なる場合は、質量の重い方のLCAデータとする。
3		製品ライフサイクルステージ	全ステージ(素材、製造、物流、使用、廃棄・リサイクル)を対象とする
4		製品の仕様	<ol style="list-style-type: none"> 1. 製品型式 2. 計量性能 使用最大流量 3. 検定有効期間 4. 外観仕様 口金/スパン、質量 5. マイコン種別
5		LCAデータの公開内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必須記載項目 温暖化負荷、酸性化負荷、エネルギー消費量 2. 任意記載項目 鉱物資源消費 3. オープンリサイクル/リユースを含む場合は「リサイクル効果」は実際に発生した負荷とは統合せずに独立してステージ毎に点線で表示する。 4. 次の文章を様式1に記載する。 「電池の製造負荷はPCR に従い「アルカリマンガン乾電池」原単位における製造負荷に換算し算出しました。」
6		その他エコデザイン関連情報 (新旧製品比較)	—
7		その他エコデザイン関連情報	<p>当該製品に関する下記のものを記載することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ISO14000 認証の取得 2. 国又は工業会等の認証・認定・表彰 3. 有害物質の使用状況:鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビニフエル(PBB)、ポリ臭化ジフェニルエーテル(PBDE)の6物質の使用状況について 4. その他

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	PCR 名称	LP ガス用マイコンガスメータ
CW - 02		Intelligent gas meter for LP gas

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
8	各ライフサイクルステージの設定	製品の原料・部品構成	<p>1. 材料分類名(製品データシートに記載する材料名) 普通鋼、SUS、アルミニウム、その他金属、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、ゴム、紙、実装回路基板、電池とし、この項目以外は使用する原単位名を記載する。</p> <p>2. 資源投入量 製品となった段階の材料質量とし、製品質量の90%以上の材料を種類別に分別、残りは比例配分して100%換算する。但し、実装基板は除く。</p> <p>3. オープンリサイクル/リユース オープンリサイクル/リユースを含む場合は、次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1)「間接影響」範囲とする工程 (2)「間接影響」範囲内の控除・負荷</p>
9		製品製造ステージのモデル化・データ区分等	<p>1. データの収集対象(別紙1参照) 実装工程の負荷はデータ収集をすることが望ましい。 この場合には、「No.74 半導体パッケージ」、「No.75 積層基板」、および実装工程収集データの組合せを基本とする。また実装工程のデータが収集できない場合には、「No.76 実装回路基板」を用いることを基本とする。</p> <p>2. 投入消費項目 電力、A重油、軽油、灯油、ガソリン、LNG、LPG、都市用水、工業用水、上水、地下水、有機溶剤</p> <p>3. 排出項目 特定せず、各社で重要と判断したものを記載する。</p> <p>4. 輸送負荷 製造工程内および製造サイト内で輸送過程がある場合は、各社の実績に基づいた輸送距離、手段、積載効率で計上。</p> <p>5. 副産物、副資材は計上しない。 但し、VOCは計上する。 (副資材:製造サイトで投入破棄され、製品とともに出荷されない資材)</p>
10		物流ステージにおけるモデル化・データ区分等	<p>国内輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手段、積載率は、各社が設定するモデルに基づく。 ・製造拠点(又は輸入拠点)から使用場所までの総輸送距離は、4tトラック、片道300km、重量換算積載率60%として算定する。 <p>或いは、各社実績による。</p>
11		使用ステージにおけるモデル化・データ区分等	<p>1. 使用条件 参考情報であり、製品データシートには記載しない。 ・使用期間:計量法に規定される検定有効期限(10年間又は7年間) ・電池寿命:計量法に規定される検定有効期限(10年間又は7年間)</p> <p>2. 取付工事および製品使用による環境負荷は計上しない。</p>

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	PCR 名称	LP ガス用マイコンガスメータ
CW - 02		Intelligent gas meter for LP gas

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
12		廃棄・リサイクルステージにおけるモデル化・データ区分等	<p>1. 100%産業廃棄物として排出され、一般廃棄物処理業者経由で燃るべき材料再生も含めた処理が為されるものとする。</p> <p>2. 廃棄リサイクル時の回収輸送の負荷計上には下記シナリオを用いる。 ・起点: ガス事業者、終点: 廃棄物処理サイト ・距離 100km (片道) ・4tトラック・重量換算積載率60%、或いは、各社実績による。</p> <p>3. 包装材などの紙類は可燃物として扱う</p> <p>4. オープンリサイクル/リユース オープンリサイクル/リユースを含む場合は、次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。 なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1) 「間接影響」範囲とする工程 (2) 「間接影響」範囲内の控除・負荷</p>
13		カットオフルール	カットオフを適用する場合は、その旨を明記しかつその理由を明確にする。
14		収集データの品質要件	<p>製造サイトが複数にまたがる場合は全生産量の60%をカバーする製造サイトデータとする。</p> <p>新製品の場合などで実績データを把握できない場合は、設計時又は計画時の条件を含むデータ(含む原単位)で代用しても良いが、平常時の実績が得られ次第見直しする。(年平均データを原則)</p>
15		収集データのアロケーション	統一せず各社で適宜決定する。
16		インベントリ計算	LCI 計算の考え方
17		共通原単位の使用条件	<p>基本的に「エコリーフ用LCI共通原単位リスト」を用いる。</p> <p>一次地金、二次地金については対応する PCR 原単位を使用する。</p>
18	LCIA	インパカテコリおよび特性化係数の追加	「オゾン層破壊」、「富栄養化」の項目は含めない。

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	PCR 名称	LP ガス用マイコンガスメータ
CW - 02		Intelligent gas meter for LP gas

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

本 PCR の制定・承認情報

評価レビューパネル	代表 : 山口 庸子 所属 : 共立女子短期大学		
PCR改訂日	2009/09/11	有効期間	2012/09/11 ~ 2015/09/10

※現行のPCRを対象に、有効期間は、制定・更新または継続を目的とした改訂から丸3年とする。

本PCRの改訂等履歴

実施日	訂番等	実施内容
2008/11/28	01	制定
2009/09/11	02	改訂(「電池の製造負荷」に関する記述を追加)
2012/09/11		更新

